

副詞. 1

名前

解答

解答

副詞：活用せず、状態や程度を表す。

・ 動詞を修飾

例 すぐに始める。

・ 形容詞・形容動詞を修飾

例 とても大きい像だ。

・ 呼応（叙述）の副詞：被修飾語の部分に決まった言い方を行う。

例 決して～ない（否定）

おそろく～だろう・たぶん～だろう（推量）

なぜ～か（疑問）

もし～ても・もし～なら（仮定）

ぜひ～ください（願望・依頼）

まるで～ように（比喻）

・ 指示の副詞

例 こう書いてください。どう書こうか。

(1) 次の線部の副詞が修飾している文節を抜き出せ。

① 猫はじつとこちらを見つめていた。

（見つめていた）

② 私はたまたま祖母の家に遊びに行く。

（行く）

③ 彼女はとてもきれいな字を書く。

（きれいな）

④ 彼は驚いて、ゆっくり振り向いた。

（振り向いた）

⑤ 祖父はしつかり約束を守った。

（守った）

⑥ その事務所はずいぶん大きな建物だ。

（大きな）

(2) 次のア～エのうち、副詞を集めたものはどれか。

（エ）

ア 動く・預ける・買う・認める

イ きれいな・美しい・辛い・やさしい

ウ 学校・先生・校舎・運動場

エ やつと・まさか・ちよつと・たうぷり

(3) 次の線部の副詞と呼応する言葉をあとの枠から選べ。

① まるで夢の（ ） きれいだった。

（ように）

② 決して人をばかにしてはいけ（ ）。

（ない）

③ たとえ失敗（ ） 、次にいかせばいい。

（でも）

④ もし雨が降った（ ） 、試合は中止です。

（ならば）

⑤ この試合は、たぶん彼のチームが勝つ（ ）。

（だろう）

⑥ ぜひ作品を仕上げて（ ）。

（ください）

⑦ なぜ犯人は、犯行に及んだのだろう（ ）。

（か）

ください ならば だろう か ように でも
ない

